

# 送辞

高松の森を吹き抜ける風にも、春の気配を感じる、この佳き日に高松中学校を旅立ってゆかれます、三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの世界的流行による突然の休校は三年生にとっても寂しく、つらいものであったと思います。しかし、このような大きな困難に直面しても、先輩方なら、力強く乗り越えて前へ進んでいけると私たちは信じています。

さて、先輩方とともに過ごした日々を振り返ると、行事や活動にいつも熱心に取り組む姿が次々と思い出されます。

私たちが、一番近くで関わり合うようになったのは、やはり「部活動」ではないでしょうか。先輩方は、上級生としての責任感を持ち、はじめのあいさつから終わりの片付けまで、真摯に取り組む姿勢を見せてくださいました。部活動は学年を超えて会話ができる、はじめてのコミュニケーションの場になりました。私たちが小学校とは大きくちがう、委員会活動やテストについて相談をすると、いつも優しく応えてくださいました。そんな頼もしい先輩方の対応は、私たちの不安をすぐに和らげてくれました。来年度入ってくる一年生に我々も、先輩方のような頼られる存在になりたいと思っています。

五月に行われた運動会。各応援団長の選手宣誓によって幕が開き、みんなの気持ちを奮い立たせてくださいました。応援合戦の練習では、三年生の「勝利へ向かって良いものにしていこう」という強い気持ちから、私たちにも気合が入り、自然とチーム全体の気持ちがまとまっていきました。三学年合同のダンス練習時に、覚えの悪い私たちにも忍耐強く、丁寧に教えてくださったことは、とても感謝しています。何よりも一番記憶に残っている競技は「ムカデ」です。足のリズムを揃えるためのかけ声は鋼のような団結力を感じさせ、私たちも思わず見入ってしまいました。先輩方の絆が見えた時間でした。最後の結果発表の嬉し涙と悔し涙には先輩方の運動会に対するアツい思いが伝わってきました。来年度も、学校全体で団結し、先輩方に負けないようなアツい運動会にしていきたいです。

そして、十月の合唱コンクール。朝練習の期間中には、早く登校した先輩方の、元気な歌声が眠い目をこする私たちに、目覚まし時計のように、届きました。三年生は他の学年より人数が少ない中、一人一人の歌声を大切に、「明るさ」と「パワー」を美しい旋律にのせていました。本番直前の休憩の時間には、クラス全員で円陣を組み、心を揃えていたことも印象的で、仲の良さが伝わってきました。荘厳な雰囲気の中行われた本番の合唱は、体育館に先輩方の力のある合唱が響きわたり、聴く人全員が惹きこまれました。私たちも聴く人たちを魅了する心に響く合唱を作り上げていきたいです。

今日の卒業式は、新たな生活、環境へと飛びこむ第一歩であると思います。不安もあると思いますが、どうかお一人お一人の進むべき道へと力強く歩いてください。夢に向かって羽ばたいてゆかれる、先輩方の輝かしい未来をお祈りし、「送辞」といたします。